

# 保健師助産師看護師国家試験の変遷について

表 1 保健師助産師看護師国家試験の改善経過

【表 1】保健師助産師看護師国家試験の改善経過

名称	検討会(改善部会)を受けた改善事項及び改善時期
<p>国家試験の改善に向け検討する会(医療関係者審議会保健婦助産婦看護婦部会国家試験検討委員会) (S56. 8～S60. 6) &lt;中間意見書(S60. 6)&gt;</p>	<p>&lt;目的&gt; 「時代が求める看護職としての能力を問う」ための国家試験内容への変革</p> <p>&lt;検討中に改善されたこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護婦国家試験について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「指定規則」に応じて試験科目ごとの出題数を変更(S57春から実施)</li> <li>・状況設定問題の導入(S58春から一部実施)</li> <li>・主要科目の出題目標と範囲の明確化【出題基準の試行】(S59春から実施)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;改善が提案された事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験の実施を年1回とする <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健婦・助産婦(S63から実施)、看護婦(H2から実施)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;今後検討を要する事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保健婦・助産婦国家試験にかかる主観式問題の採点法の工夫及び状況設定問題の導入</li> <li>●試験問題のプール制導入</li> </ul>
<p>医療関係者審議会保健婦助産婦看護婦部会国家試験検討委員会 (～S63. 4. 14) &lt;報告書(S63. 4. 14)&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●客観式多肢選択問題(一般問題)の出題形式の変更(H2から実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・五肢択一 → 四肢択一</li> <li>・(看)出題数150問、総解答時間2時間30分</li> <li>・(保・助)出題数75問、総解答時間1時間15分</li> </ul> </li> <li>●看護師国家試験における状況設定問題の導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出題数60問、総解答時間2時間</li> <li>・午前は一般問題、午後は状況設定問題</li> </ul> </li> <li>●出題基準 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健婦助産婦看護婦国家試験出題基準の適用(H2から実施) (出題基準は4年ごとの見直しが必要)</li> </ul> </li> <li>●完全プール制の導入は現時点では不可能。既出問題の一部を洗練し、問題をプールし使用することは適当</li> </ul>
<p>医療関係者審議会保健婦助産婦看護婦部会国家試験検討委員会 (H6. 11. 18～H7. 3. 30) &lt;報告書(H7. 3. 30)&gt;</p>	<p>&lt;目的&gt;国家試験の合格発表を早期に行うための検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国家試験の実施時期を1週間繰り上げ(H9から実施)</li> <li>●卒業(修業)証明書の提出期限は3月中旬に繰り上げ(H9から実施)</li> <li>●保健婦・助産婦国家試験の主観式問題を客観式問題(状況設定問題)に変更することを検討</li> </ul>
<p>医療関係者審議会保健婦助産婦看護婦部会国家試験検討委員会 (H7. 8. 30～H8. 3. 26) &lt;報告書(H8. 3. 26)&gt;</p>	<p>&lt;目的&gt;保健婦・助産婦国家試験の状況設定問題導入の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保健婦・助産婦国家試験の主観式問題を状況設定問題に変更(H9から実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・出題数30問、総解答時間1時間</li> </ul> </li> </ul>
<p>医道審議会保健師助産師看護師分科会保健師助産師看護師国家試験制度改善部会 (H13. 7. 10～H14. 3. 29) &lt;報告書(H14. 3. 29)&gt;</p>	<p>&lt;目的&gt; 「時代が求める看護職員としての能力を問う」ための国家試験制度の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●応用力を問う問題を導入するため試験時間を延長(H15から実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師・助産師国家試験 総解答時間2時間20分</li> <li>・看護師国家試験 総解答時間4時間45分</li> </ul> </li> <li>●看護師国家試験における必修問題(30問)の導入(H16から実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・出題数及び時間の延長：出題数240問、総解答時間5時間15分</li> <li>・合格基準：必修問題は絶対基準、その他は相対基準</li> </ul> </li> <li>●試験問題の公募及びプール制の導入</li> </ul> <p>&lt;今後検討を要する事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護師国家試験における禁忌肢の導入の検討</li> <li>●保健師助産師国家試験の改善(必修問題の導入の可否等を含めて検討)</li> <li>●定期的に部会を開催し、試験制度の評価・改善方を検討することが必要</li> </ul>